	⑭　回転継手（センタージョイント、スイベルジョイントを含む。）	負荷をかけた状態で回転させ、回転の状態と回転継手からの油漏れの有無を調べる。	円滑に回転し、油漏れがないこと。

7　操作装置

検査対象の構造及び装置		検　査　方　法	判　定　基　準
7.1 操作装置	⑴　操作レバー、スイッチボタン等（走行用、作業用に限る。）	レバー等を操作してストロークの適否及びがたの有無を調べる。	ストロークが適正で、かつ、著しいがたがないこと。
	⑵　リモートコントロール装置	レバーを操作してストロークの適否及びがたの有無を調べる。	ストロークが適正で、かつ、著しいがたがないこと。

8　安全装置等

検査対象の構造及び装置		検　査　方　法	判　定　基　準
8.1 安全装置	⑴　作業範囲規制装置	①　バケット内が無負荷状態で下部の操作装置を操作して作動の適否を調べる。 ただし、作業範囲規制装置のうち、モーメントリミッターについては、積載荷重の荷を載せて調べる。	①　正常に作動すること。
		②　各機器等の損傷の有無を調べる。	②　損傷がないこと。
		③　取付け状態を調べる。	③　取付け状態が適正であること。
	⑵　過積載防止装置	①　作業床に積載荷重を超える荷を載せ、自動停止装置及び警報装置等の作動の適否を調べる。	①　正常に作動すること。
		②　各機器等の損傷の有無を調べる。	②　損傷がないこと。
		③　取付け状態を調べる。	③　取付け状態が適正であること。
	⑶　車体傾斜角警報装置	①　製造者が定める方法により、警報装置等の作動の適否を調べる。	①　警報装置等の作動が当該車体の構造及び性能に照らし、適正であること。
		②　各機器等の損傷の有無を調べる。	②　損傷がないこと。
		③　取付け状態を調べる。	③　取付け状態が適正であること。
	⑷　アウトリガーインターロック	①　ジャッキを接地しない場合に、作業床の上昇及び旋回を行うことができないことを確認する。	①　ジャッキを接地しない場合に、上昇及び旋回を行うことができないこと。
		②　各機器等の損傷の有無を調べる。	②　損傷がないこと。
		③　取付け状態を調べる。	③　取付け状態が適正であること。
	⑸　緊急停止装置	各操作レバーを入れた状態で緊急停止レバー又はボタンを操作して緊急停止装置の作動が停止すること、さらに緊急停止レバー又はボタンを復帰側に操作して作動が即時に復帰することを確認する。	正常に作動すること。
	⑹　非常用ポンプ装置	①　エンジンを停止し、始動スイッチを入れた状態で、下部及び作業床部において非常用ポンプボタンを押しながら起伏、伸縮及び旋回のレバーを操作して作動の適否を調べる。	①　正常に作動すること。
		②　ポンプ、スイッチ等の取付け状態を調べる。	②　取付け状態が適正であること。
	⑺　角度計	①　起伏角度の範囲内で起伏操作を行い、作動の適否を調べる。	①　正常に作動すること。
		②　角度計の損傷及び目盛等の鮮明度を調べる。	②　損傷がなく、かつ、目盛等が鮮明であること。
		③　取付け状態を調べる。	③　取付け状態が適正であること。
	⑻　アースリール線	アースリール線の抵抗を調べる。	抵抗が当該車体の構造及び性能に照らし、適正な範囲にあること。
	⑼　規制装置（各速度規制装置を含む。）及び検出装置（アウトリガー張出し検出装置、接触警報装置を含む。）	①　各規制装置、検出装置等の作動の適否を調べる。	①　正常に作動すること。
		②　各機器等の損傷の有無を調べる。	②　損傷がないこと。
		③　取付け状態を調べる。	③　取付け状態が適正であること。